

# 視察研修・研修会等報告書 1

議席番号（3番）議員名（櫻井恵二）

1. 期日：平成 28 年 6 月 30 日（木）～7 月 2 日（土）2 泊 3 日
2. 場所：北海道 帯広市
3. 視察・研修事項：帯広市「帯広の森はぐくむ」について
4. 面接者：帯広市建設部みどりの課係長 大橋 由幾、小丹枝 祐美
5. 視察研修・研修会の成果

帯広市は、人口約 168,000 人、面積 619.34 k m<sup>2</sup>  
帯広市の開拓は、富山、岐阜など本州からの民間開拓移民によって進められ、十勝地方の中心都市である。ここに昭和 44 年に当時の市長がオーストラリアを訪問、そこで「ウィーンの森」に出会い「帯広の森」構想を発表し、以来 40 年間総整備費 300 億以上かけた「帯広の森」がスタートした。

帯広の森は、406.5 h a 都市部の人口増加が周辺地帯への宅地の乱開発を防止し、快適な都市環境を確保することを目的としているとのこと。

## **【所感】**

帯広市内の道路は一部片側 4 車線道路になっている。国策に大きく影響される地域と感じた。今回の「帯広の森」を研修して、一つの事業に 40 年もの歳月を費やすのは如何なものかと感じた。人口増加の時に計画したものが、人口減少時代にはどうかと、また、近くには大原生林がある。ただ多くの市民が参加し完成させたことは評価できる。

## 視察研修・研修会等報告書 2

議席番号 (3 番) 議員名 (櫻井恵二)

1. 期日：平成 28 年 6 月 30 日 (木) ～7 月 2 日 (土) 2 泊 3 日

2. 場所：北海道 広尾町

3. 視察・研修事項：「サンタランド」について

4. 面接者：広尾町議会事務局長 菅原康博

同町商工観光課長 雄谷 幸裕

5. 視察研修・研修会の成果

広尾町は人口 7,200 人、面積 596.16 k m<sup>2</sup> 豊かな自然を生かした漁業を中心に農林業を基幹産業として発展してきた町である。また、「十勝港」は重要港湾として将来が期待されている。

「サンタランド」の誕生は 1980 年にノルウェーベルゲン市の国立水族館とシーサイドパーク広尾・海洋水族科学館が姉妹提携をしたことが縁で、ノルウェーとの交流が始まった。その後 1984 年日本で唯一の「サンタランド」として認定書が贈られた。

### 【所感】

広尾町は人口 7,200 人余りで昨年の予算は約 100 億であるという説明を受けた。港湾があるためとのこと。しかし人口減少は止められなく一時は 15,000 人の人口があったとのこと。

サンタクロースによる街づくり、立地を考えれば良いと思いますが、外国の文化だけでなく、本来この地は漁業の町であり、特に柳葉魚は有名であると聞き、特産物をもっと利用し、複数の観光産業を用意し、働く場所を確保する必要があると思った。そして役所の役割が非常に大きいと感じた。議員になって 2 年、南は九州、四国、北は北海道、全国色々な所を研修したが、改めて矢板市は大変恵まれた地であると再認識した。

## 視察研修・研修会等報告書 3

議席番号(3番) 議員名(櫻井恵二)

1. 期日：平成28年6月30日(木)～7月2日(土) 2泊3日

2. 場所：北海道 北広島市

3. 視察・研修事項：「輪厚スマートインターチェンジ」について

4. 面接者：北広島市企画財政部都市計画課長 諏訪 博紀 他3名  
東日本高速道路(株) 札幌管理事務所長 川俣 和久 他1名

5. 視察研修・研修会の成果

北広島市、人口約60,000人、面積119.05km<sup>2</sup>で札幌市に隣接する市である。現在は札幌市のベッドタウンとして人口が増加し発展した市である。「輪厚スマートインターチェンジ」は大曲工業団地、北広島輪厚工業団地が隣接している。スマートIC利用者も関連企業や社員の利用も多く、通勤にも利用されているとのこと。また観光客の多くが、ゴルフ場宿泊施設を利用しているとのこと。毎年ANAオープンゴルフ大会開催中には年間最大利用台数を更新しているとのこと。利用価値の高いスマートICである。

### 【所感】

「輪厚スマートインターチェンジ」は北海道においては比較的立地条件が良く大都市札幌の隣接地である。そして工業団地(働く場)がある。そして近郊に有名ゴルフ場が多くあり夏は全国からプレーに訪れる。矢板北スマートインターチェンジにおいても、今のままでの開通ではなく周辺も同時に開発する必要性を強く感じました。

# 視察研修・研修会等報告書 4

議席番号 (3 番) 議員名 (櫻井恵二)

1. 期日 : 平成 29 年 1 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金) 1 泊 2 日
2. 場所 : 山梨県 北杜市
3. 視察・研修事項 : 山梨県 北杜市「企業の農業参入」について
4. 面接者 : 北杜市農業委員会事務局 福田 和久
5. 視察研修・研修会の成果

北杜市は人口約 48,000 人、面積 602.89 k m<sup>2</sup>で 4 町 3 村が平成 16 年に合併した市である。県内随一の面積を誇る市である。

農業の大規模化、組織化を図ることにより法人化を推進し企業の農業参入を進めている。そして市は基盤整備を強く推進している。そして基盤整備と農地集積を組み合わせた推進を行っている。

## 【所感】

矢板市に例えると高原山の麓のような感じの所である。可能性としては農業に頼るところが大きい市だと思います。今後矢板市においても首都圏からのアクセスを考え農業と観光を組み合わせるとか、首都圏住民のための農園とか農業を柱とした産業への取り組みを考えることが必要であると感じた。

## 視察研修・研修会等報告書 5

議席番号(3番) 議員名(櫻井恵二)

1. 期日：平成 29 年 1 月 26 日(木)～27 日(金) 1泊2日

2. 場所：長野県 松本市

3. 視察・研修事項：「健康寿命延伸都市・松本」について

4. 面接者：松本市健康福祉部健康づくり課長 古畑 崇子

5. 視察研修・研修会の成果

松本市は人口約 241,000 人、面積 978.47 k㎡、昔は松本藩の城下町として栄えた。そして平成 19 年には市制施行 100 周年を迎えた歴史ある市である。そして農商工業のバランスのとれた市でもある。そして平成 25 年には「健康寿命延伸都市宣言」を議会で議決し 6 つのまちづくり基本目標を定めた。

- ① 人の健康(保健・医療) ② 生活の健康(平和・人権・福祉・子育て)
- ③ 地域の健康(地域の支え合い・防災・都市基盤) ④ 環境の健康(環境負荷軽減・自然・生活) ⑤ 経済の健康(人材育成・産業・経済・観光)
- ⑥ 教育・文化の健康(学校・生涯・文化芸術)

### **【所感】**

松本市においても医療費の上昇を少しでも抑えるため、地域住民が協力しあって長年予防医療に力を入れているが、数字的に成果を出し、医療費を削減することは難しいとのこと。

矢板市においては市税収入よりも扶助費が上回るという状況が続いていますが、体だけでなく心の健康を維持するためにも松本市のような地域が一体となった取り組みが必要であると思う。